

9月22日：VN指数は下落して取引を終える（VN-Index -1.62%）

- VN指数はFRBが追加利上げを示唆していることから世界的に株は売られる動きとなった中で、VN指数も下落して取引を開始した。また、ベトナム国家銀行（SBV）がT-billの発行を通して金融引き締め姿勢を見せたことも悪材料となった。
- その後はパニック的な売りが入る場面もあり、大きな下落となった。水産加工のみに唯一買いが集まっていた。
- 午後に入ると押し目買いが入り、反発の動きを見せた。特に銀行株が注目を集めた。
- しかし、依然として前日終値比で下落したまま取引を終えた。特に、金融サービス、不動産セクターの売りが重しとなった。
- 455銘柄が下落、70銘柄が上昇、変わらずは47銘柄と下落銘柄数が大きく上回った。
- 流動性は41%ほど急増し、売買代金は32.3兆ドンだった。

VN30指数は下げるもいくつかの銘柄は買いを集める（VN30 -1.76%）

- 大型株で構成するVN30指数は4銘柄のみが上昇、25銘柄が下落、1銘柄が変わらずだった。
- BID（+1.88%）、GAS（+2.36%）、STB（+1.70%）、VCB（+2.64%）などが大きく上昇していた。
- 一方、SSI（-6.19%）、GVR（-5.82%）、VHM（-4.38%）、MSN（-4.31%）、VIC（-4.21%）などが4%を超える下落。

セクター・個別株の動き

- PNJ（-1.94%）は8月の純利益が760億ドンとなり、2022年8月以来最低の水準となったことから売られた。

- Bloomberg が IPO の延期を伝えた VNZ (-4.59%) も安い。2024 年への延期が予定されていると報じられた。
- 外国人投資家は 1,814 億ドルの売り越しを続けている。VIC (-4.21%) が大きく売られていた。一方、VNMには買いが入っていた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。